



架け橋

第8号

(令和4年11月1日発行)

ホームページ：<http://mihashi-j.saitama-city.ed.jp/>

E-mail：mihashi-j@saitama-city.ed.jp

フルカラー版は学校関係者専用ページに掲載

学校教育目標：ゆたかに・かしこく・たくましく

実りの秋を実感 – 継続は力なり–

校長 芳崎 正道

朝の最低気温が一桁になる日も目立つなど、一気に秋が深まっているように感じます。職員玄関からグラウンドに降りる坂の左手にたたくもみぢの葉が、日に日に紅さを増しています。そんな10月、新人戦、生徒会役員選挙、駅伝、つぼみの日、そして合唱コンクールと、数多くの行事・大会が実施されました。



日日草(職員室前)

昨年は新型コロナウイルス感染拡大のため中止となり、2年ぶりに実施された新人戦では、1・2年生が、これまでに仲間とともに高めてきた力を発揮すべく、本校各部活動はおおいに健闘していました。中には、県大会出場を決めるなど、素晴らしい成績を残した部活動もありました。

一人ひとり、実にひたむきに競技に向き合い、また仲間の真剣な姿勢に全力で声援・応援をするなど、部活一丸となって取り組む様子には、心を動かされました。

25日には、市中学校駅伝大会が4年ぶりに荒川総合グラウンドで開催され、本校は総合順位で男子3位・県大会出場、女子15位となりました。男子の3位入賞は平成16年以来18年ぶりの快挙です。「駅伝部」として、ほぼ約一ヶ月にわたり、日々、早朝・放課後、練習を重ねてきました。本校の選手は、応援・サポートの生徒とともに、「チーム三橋」としてそれぞれが精一杯ベストを尽くし、底力を発揮していました。

29日には、マスク着用のもと、3年ぶりに、全校生徒が一堂に会し、保護者の方々の参観(学年ごとに入替)のもと、合唱コンクールを開催しました。どのクラスも、日頃の練習の成果を発揮すべく、創り上げた合唱・歌声を、仲間とともに精一杯、歌声を響かせていました。聴く者の心に訴えかける懸命な姿勢に、感動を覚えました。

本校着任後一年半、子どもたちを見守る中で、「本校の生徒は、クラスや部活等、「集団・チーム」として取り組む際、地道にコツコツと努力を重ね(=「努力は足し算」)、互いを刺激し高め合うとともに、積み重ねてきた自分や仲間の力を引き出すこと(=「協力はかけ算」)ができる。結果、いざというとき、高め、秘めてきた底力を存分に発揮できる強さに繋がっている。」と以前から感じていましたが、実りの秋、様々な場面で子どもたちの活躍に触れるたびに、一層強くそのことを感じています。

まさに、「継続は力なり」です。生徒の皆さん、自信をもって、授業や部活動などさまざまな教育活動にコツコツと少しずつ、仲間とともに引き続き取り組んで行きましょう。